

進路だより

 No. 1 1
 令和 6 年 1 月 1 0 日 (水)

令和 6 年度愛知県公立高等学校入学者選抜について

愛知県公立高等学校入学者選抜では、全日制課程、定時制課程及び通信制課程において、Webにより出願手続きを行います。去る12月21日(木)に、さずなネットでも令和6年度入学者選抜版の愛知県公立高等学校入学者選抜Web出願の手引(受検生・保護者用)の案内を流しました。もうご覧いただけましたでしょうか。その内容を受けて、刈谷南中学校では、下記の日程で進めていきます。

1 各種選抜ごとのスケジュール

1月10日(水)～12日(金) 公立受検者相談会にて、担任から説明を受ける
 ～14日(日) 説明を受けた者から新規ユーザ登録を行う
 (全日制課程の推薦選抜受検希望者) 17日(水)に校内推薦委員会の結果伝達を行う

※ 各種選抜ごとの出願期間初日に、必ず出願登録を行ってください。

(通信制課程前期選抜の受検希望者) 出願期間：1月15日(月)～1月22日(月)
 (全日制課程の推薦選抜受検希望者) 出願期間： 25日(木)～2月 1日(木)
 (定時制課程前期選抜の受検希望者) 出願期間： 29日(月)～2月 5日(月)
 (全日制課程の一般選抜受検希望者) 出願期間： 2月 6日(火)～2月14日(水)
 ※推薦選抜不合格者は2月8日(木)

2 Web出願システムへのアクセス方法(手引の1ページ)

下記のURLを入力または右の二次元バーコードをスキャンして、Web出願システムにアクセスしてください。

<https://www.hswebentry.pref.aichi.jp/Inputs/Login/>



3 手順の概要(詳しくは手引き参照)

STEP 1 新規ユーザー登録をする(手引の3ページ)

- ・ ユーザIDまたはメールアドレス及びログインパスワードを入力する。
- ・ 新規ユーザー登録の際、入力したメールアドレスにワンタイムパスワードが届くので、ドメイン設定を解除しておいてください。
- ・ 兄弟姉妹の場合は、同じアドレスを登録することができません。それぞれ別のメールアドレスを御用意ください。

本人情報を入力する(手引の5ページ)

- ・ 数字は、半角で入力してください。
- ・ 学校認証コードは、「6322」です。
- ・ 「本人氏名」、「生年月日」、「出願資格」、「ユーザID」等を入力します。
- ・ 「出願資格」は、「中学校卒業(見込)者」を選んでください。
- ・ 「卒業(見込)年月」は、「2024年3月卒業見込」を選んでください。

STEP 2 出願情報登録(手引の7ページ)

- ・ 「選抜種別」、「志望先高等学校」は、公立受検者相談会で決定した種別・学校を入力してください。
- ・ 住所は、〇〇町の後ろを入力し忘れないこと。「-」ではなく、「〇丁目〇番地〇」と入力してください。マンション・アパート名は入力しない。ただし、部屋番号は最後に入力する。例)「〇丁目〇番地〇-402」または「〇丁目〇番地〇 402」(部屋番号の前を1文字空ける)
- ・ 各種申請・届出を希望する人は、手引の13ページおよび25ページ以降をよく読んで間違いのないようにしてください。申請の内容によっては、証明書等の画像データの登録が求められる場合があります。

STEP 3 入学検定料の納付(手引の14ページ)

- ・ 刈谷南中学校による出願情報の承認後、納付を行ってください。入学検定料は出願期間の最終日の15時までには必ず納付してください。

STEP 4 受検票のダウンロード及び印刷(手引の18ページ)

- ・ 受検票は、高等学校による出願情報の受付後にダウンロードできます。ダウンロードできたら印刷を行ってください。家にプリンタがない場合は、コンビニ等で印刷します。
- ・ 受検票は、「A4サイズ・横向き」で印刷し、キリトリ線で切り離して、担任の先生に提出してください。
- ・ 志願変更をする場合は、必ず事前に担任に相談してください。

STEP 5 合格発表(手引の22ページ)

- ・ 中学校でも確認しますが、各自で、可否の確認をお願いします。特に全日制課程の推薦選抜は、結果次第で一般入試への出願登録をしなければならないので、その日に必ず確認をしてください。

令和6年度愛知県公立高等学校入学者選抜について、いくつかお伝えします。ここにはないことでご質問があれば、刈谷南中学校までお問い合わせください。また、県のHPにも実施要項がアップされていますので、そちらも参考にしてください。

1 学力検査時の定規の持参について

受検者は、学力検査（特色選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜及び第2次選抜を含む。）の際には、定規（分度器の付いていないもので、不要な言葉等が印字等されていないもの。）を持参する。

2 学力検査時の時計の扱いについて

小型の置き時計を含めて、時計（スマートフォン等の情報通信機器は除く。）を検査場に持ち込むことができるが、計算機能及び通信機能が付いていないもの、アラーム音・秒針の音・振動音等が聞こえないものとする。

3 学力検査時の防寒着、防寒具等の扱いについて

- (1) 中学校でふだん着用しているジャージやウインドブレーカー、コート等の防寒着を、検査中も着用してよい。ただし、検査中に脱いだり、着たりするときは、周りに迷惑がかからないように注意する。また、着ていないときは、椅子の背もたれに掛けておく。
- (2) 膝掛けや座布団、耳当て等の防寒具も、必要に応じて使用してよい。なお、耳当てをしている受検者には、その下にイヤホンなどを装着していないかを確認するため、検査開始前に監督者が声掛けをすることがある。
- (3) 筆記用具、定規、時計、防寒着、防寒具等の他に、タオル、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパーは、事前の申請なく検査場に持ち込むことができる。ただし、ティッシュペーパーを机の上に置くときは、袋や箱から中身だけを取り出す。

4 遅刻者への対応について

- (1) やむを得ない理由により遅刻したと高等学校長が認めた者
ア 第1時限の検査開始時刻から20分以内の遅刻者（9時30分までに入室した者）については、第1時限のみ一般の受検者とは別の検査場で、遅れた時間だけ終了時刻を遅らせて受検することができる。
イ 上記ア以外の遅刻者については、第2時限以降は検査開始時刻に間に合った教科のみ受検し、受検できなかった教科は追検査を受検することができる。
- (2) 通常の（やむを得ない理由によらない）遅刻者
ア 第1時限の検査開始時刻から20分以内の遅刻者（9時30分までに入室した者）に限り受検が認められる。
イ 上記アの場合、第1時限は一般の受検者とは別の検査場で受検し、第1時限の終了時刻は一般の者と同じとなる。
ウ 上記ア以外の遅刻者については、受検が認められない。（Web出願システムによって受検辞退を届け出る。）

5 外国語（英語）の聞き取り検査の実施について

- (1) 一般選抜における第5時限外国語（英語）の聞き取り検査と筆記検査との間は休憩とせず、受検者は検査場内で着席したまま待機する。
- (2) 特色選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜及び第2次選抜においては、外国語（英語）の聞き取り検査は行わない。

6 面接について

- (1) 推薦選抜、特色選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜及び連携型選抜においては、受検者全員に対し、面接を行う。なお、外国人生徒等選抜及び全日制単位制選抜については、個人面接とする。
- (2) 一般選抜においては、一部の高等学校・学科で面接を行う。
- (3) 控室及び面接会場にスマートフォン等の情報通信機器を持ち込むことはできない。
- (4) 待ち時間を過ごすための本や面接のためのメモ等（ノートや冊子等、面接の準備のための資料を含む。）は控室に持ち込んでもよい。ただし、面接中にメモ等を見ることはできない。

7 一般選抜における追検査について

- (1) 高等学校長が、やむを得ない理由により一般選抜の学力検査当日に受検できなくなったと認めた場合には、追検査を受検することができる。ただし、受検中の急病等による場合は、既に受検した教科及び受検中の教科を除く。なお、推薦選抜、特色選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜、連携型選抜、第2次選抜、定時制課程及び通信制課程においては、追検査を行わない。
- (2) 追検査を希望する者は、Web出願システムによって、「追検査受検申請」の登録を行うとともに、診断書等の追検査を受ける理由を証明する書類の画像データを登録する。学力検査当日の2月22日（木）9時から17時までの間に行う。
- (3) 面接を実施する高等学校における追検査受検者の面接は、原則として本来の面接実施日に行われるが、特に追検査実施日の面接を希望する場合には、中学校長から高等学校長に電話で申し出る。同様に、追検査受検者の特別検査は、原則として本来の特別検査実施日に行われる。やむを得ない理由により追検査実施日に特別検査の受検を希望する場合には、中学校長から高等学校長に電話で申し出る。
- (4) 追検査によっても5教科全ての学力検査を受検できなかった場合には、選抜の対象とならない。（その場合は、Web出願システムによって受検辞退を届け出る。）
- (5) 新型コロナウイルス感染症にかかると「特別の追検査」は行わない。インフルエンザも同じ対応になる。

8 第2次選抜の出願資格について

- (1) 高等学校を受検せず、高等学校と技能連携している専修学校のみを受検した者は、専修学校の技能連携先である高等学校の可否にかかわらず、第2次選抜に出願できない。
- (2) 高等学校を受検したが、どの高等学校にも合格しなかった者は、受検した専修学校の技能連携先である高等学校の可否にかかわらず、第2次選抜に出願できる。